

平成18年度病害虫発生予報第4号(7月予報)

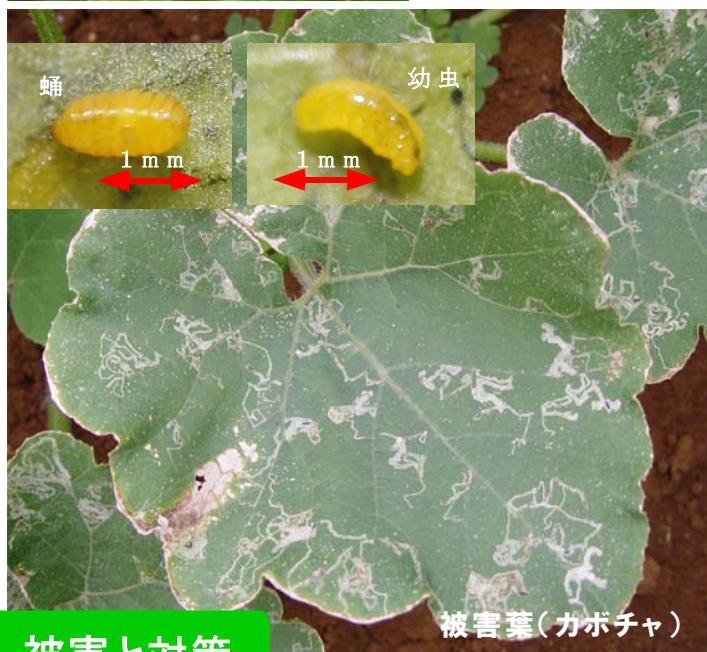
＜お知らせ＞ 経過措置農薬とポジティブリスト制度に関するお知らせがあります(裏表紙参照)。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

今月のトピックス



マメハモグリバエ成虫
(農研センター提供)



被害と対策

被害葉(カボチャ)

マメハモグリバエ(野菜類・花卉類)

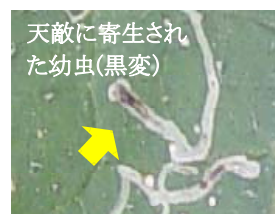
学名: *Liriomyza trifolii*

トマトハモグリバエ(野菜類・花卉類)

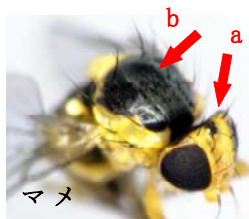
学名: *Liriomyza sativae*



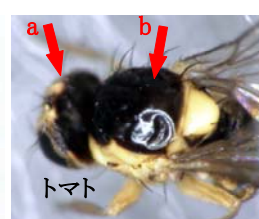
健全な幼虫(黄色)



天敵に寄生された幼虫(黒変)



マメ



トマト

マメハモグリバエとトマトハモグリバエ成虫の識別点

見るところ	マメ	トマト
頭部剛毛基部(a)	黄色	褐色～黒色
胸部(b)	くすんだ黒色	光沢のある黒色

県内で問題となるハモグリバエ類は外来侵入種の2種(マメ:1993年・トマト:1999年)で、多くの花卉類・野菜類・雑草の葉を加害し、光合成阻害や病気の誘発による減収や品質低下をもたらす。成虫は葉に産卵し、ふ化幼虫が葉肉内を潜って食害し、葉の上又は土中で蛹になる。成虫の産卵痕は白い斑点となり、幼虫の食害痕は白い線状となる。ハモグリバエ類の天敵としては12種類程度の寄生蜂が確認されており、これらの土着寄生蜂を活用できる防除体系を作れば、本害虫に対する殺虫剤防除はほとんど必要ない。

★ 予報の見方 ★

- ①発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- ②「発生の程度」は平年との比較を示しています。そのため毎年その月で高い数値が続いた場合にはその月の「発生の程度」は密度が高くて「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にして下さい。

平成18年7月1日

沖縄県病害虫防除技術センター